



私は高校卒業後、約１０年間社会人として働いていましたが、料理人の友人から「レストランの専任農家として一緒にやらないか」と声をかけられ、その友人に誘われて訪れた長崎県雲仙市の有機農産物直売所で心に残る経験をしました。その直売所には専任農家さんがいるのですが、その方の野菜を目的に訪れる一般消費者やレストランの料理人がいたのです。それを見て「私も消費者や料理人に求められるような美味しくて魅力的な野菜をつくりたい」という思いが強くなり、農業技術や知識の習得のため、農業大学校進学を決意しました。

農大では野菜経営コース（施設野菜グループ）に所属し、可能な限り化学農薬や化学肥料を用いずにピーマン、トウガラシを栽培する等卒業後に必要な知識や技術の習得に励みました。

卒業後は地元福知山市で農地を借り、化学肥料や化学農薬を用いずにピーマンや根菜類の栽培に取り組んでいます。また、販路拡大にも取り組んでおり、地域で有機農業に取り組む農家さんと一緒に出荷グループの立ち上げも進めているところです。将来的にはレストランへの出荷ができるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。



農業高校を卒業後、もっと農業のことを学びたいと思い農業大学校に入学しました。

農業大学校では野菜経営コースの野菜・花きグループを選び、トマト、キュウリ、花壇苗の他水稻やネギも実践プロジェクト学習として取り組みました。

プロジェクトは栽培計画から栽培管理、収益や経費などの計算をすべて自分が行わなければならず、忙しいときには朝早くから夕方遅くまで作業していたこともありましたが、とてもやりがいがあり、特に収穫～出荷は楽しかったです。

就職は精華町の農家さんにお世話になっています。就職してまだ間もないですが、プロジェクトで選んだトマトの品種が就職先でも同じだったこともあり、農業大学校で学んだことはとても役に立っています。

現在実家から通っていますが、今後は精華町に引っ越して、充実した生活を送りたいと思っています。





私は大学を卒業してから農大に入学しました。農業について学んだことはありませんでしたが、大学時代にネギ農家さんへインターンシップに行ったことで農業に興味を持ちました。その農家さんでは農大の卒業生も働いておられ、農大では農業に関して学べるだけでなく、様々な免許も取得できることを知りました。この経験を機に、私も農大で農業を学びたいと思い入学を決めました。

農大では野菜経営コースに所属していました。実践プロジェクト学習で「ナスのガラス温室とビニールハウスの栽培比較」を課題に取り組み、ナスやトマト、ネギ、サトイモの栽培を行いました。

卒業後は八幡市でネギやナス等を生産している農業法人に就職しました。入社後は様々な品目の栽培に携わりましたが、現在は主にナスの栽培管理の業務に携わっています。農大でのプロジェクトで栽培していない品目もありますが、他の作物を栽培していた経験を活かすことができています。

将来的に独立したいと考えていますが、実際に働いてみて、農業経営の難しさも感じました。技術や知識をしっかりと身に付け、将来の夢に向かって一生懸命頑張りたいです。



高校の頃に育てたトウモロコシを「とても美味しい」と喜んで食べてもらった事が嬉しく、農業に興味を持ちました。高校の先生の勧めもあり、農大マルシェで農業大学校を知り、将来のためにもっと学びたいと思い農業大学校へ進学しました。

農業大学校では京野菜に興味があったため、野菜経営コースの伝統野菜グループを選び、賀茂なすや白菜、人参等を実践プロジェクト学習として取り組みました。プロジェクトは栽培計画から販売、経営管理までを一人でとりまとめる必要があったため、とても苦勞しましたが、何とかやりきることが出来ました。

就職は大好きな地元の京丹後市で働きたいと思っていたので、野菜はもちろん、水稻から果樹、畜産までの農業全般を生業にする農業法人にお世話になっています。まだまだ教わる事がたくさんありますが、高校生の頃に目指した場所に立てているので、一生懸命やりきろうと思っています。

京丹後に来られた際は、是非とも直売所によっていただき、好みのお野菜を探してみてください。